



たらあ

平成 28 年
新年号
平成28年1月1日発行
No.502

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011

2016 謹賀新年



新成人 夢に向かって 羽ばたけ



多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。



the most beautiful
villages
in japan



多良間村長

伊良皆 光夫

Mitsuo Iramina



新年のごあいさつ

村民の皆様、明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたことと、お喜び申し上げます。日頃より、村政全般にわたり温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

本村の昨年を振り返ってみますと、村民が待ち望んでいたコミュニティ施設の落成により、生涯学習の場、健康づくりの場、村づくりの場、憩いの場として活発・有意義な活用がされておりますことは、村の活力を象徴するようになにがわいとなっております。ソフト面においては、防災無線整備事業により、エフエムみやこ多良間中継局開局により、災害が起きた時や地域の情報発信ができるようになり、安心・安全な村づくりが進められるものと思えます。フェリーの自動車運賃軽減として、村民が宮古島まで車で往復する場合、船賃を半額助成し、村民の負担軽減を図っております。多くの村民の皆様がご

利用下さいますようお願い致します。特産品開発においては、たらま花研究会による「たらま花ブレンド茶」「たらま紅紬」が開発され今後への飛躍が期待されます。また、小学六年生、中学二年生が本村初めての沖縄本島での職場体験学習で、新しい体験をおし視野が広がることで、子ども達の将来への職業選択に夢が広がることを期待します。

二〇一六年今年は、まち・ひと・しごと創生による、多良間村人口ビジョン、総合戦略を策定し、過疎化対策をはかりながら、活力ある多良間村建設実践元年としていきたいと考えます。さらに本村はじまって以来の74億円余という多額の予算を投じた、新製糖工場建設に向けた事業が昨年より実施されており、次年度中に目処づけをして参ります。観光においては、「地元産食材提供不足」「宿泊施設不足」「観光ガイド等不足」が指摘されており、民間力の参入を望むところでありますが、今のと

ころ厳しい状況にあり、課題改善に向けて行政としても積極的に取り組んでいきます。

急速に進みつつある超少子高齢社会並びに人口減少社会に適応する村づくりの方向性を、この一年村民の皆様と一緒に考え、じっくりと考察をめぐらし、交流人口や定住人口の増加を促進してまいりたいと考えております。

そして、行政と村民がともに義務と責任を分かち合いながら、将来を見据え、村民一人ひとりの、生活や生き方の質の向上と生きがいを目指し、誰もが「暮らしてみたい」「暮らしたい」と思える村づくりを展開していききたいと改めて決意を致しております。お互いのもてる力を結集し、笑顔あふれる多良間村を創っていきましょう。

結びに本年が村民の皆様にとりまして素晴らしい年になりますよう、ご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

平成二十八年 元日



新年のごあいさつ

多良間村議会議長

森山 実夫

Saneo Moriyama



新年明けましておめでとうございます。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた平成二十八年の新春を、晴れやかに迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

年頭に当たり、多良間村議会を代表しまして謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

また、日頃から村議会に対し、深いご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の我が国における情勢をみますと景気は、これまで緩やかな基調が続いているものの、地方においては、少子・高齢化や過疎化の中で、以前として厳しい経済・雇用情勢に悩まされ、地方の活力は、減退しています。

こうしたなか国は、「地方創生元年」と位置づけ、総合戦略を策定し人口減少の克服、地方創生に向け取り組んでいます。また、多良間村に目を転じますと、中心的産業である農業にとりましては、TPPの影響がど

のようなものとなるのか不安はぬぐいきれませんが、新製糖工場の建設や肉用牛の高値続きと農家にとっては、明るい年であつたと思います。しかしながら、若者の流出などによる人口の減少に伴い、地域経済の活力が低下し、地域の伝統・文化の継承の危機に直面する等、多くの課題を抱えている状況にあります。

我々議会としましても真正面からこの課題に取り組む覚悟であり責任の重さを自覚し、決意を新たに活力と思いやりのある多良間村の実現に向け、豊かで住みよい村づくりを目指し、全力を尽くしてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

結びに、新しい年が村民の皆様方にとって実り多き年となりますことを心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

平成二十八年 元旦





新年のごあいさつ

多良間村教育委員会
教育長

池城 三千雄

Michio Ikeshiro



新年あけましておめでとう
ございます。

村民の皆様には、輝かしい
二〇一六年の初春を迎えら
れ、心身ともに益々ご健勝の
ことと、お喜び申し上げます。

二〇一五(平成二十七)年を
振り返りますと、学校では子
ども達の情報教育を進めるた
め、学校教育用コンピュータ
を新機種に取り替えました。
又、子ども達には基礎学力の
定着を目指して、小学校では
漢字検定と算数検定を実施、
中学校では漢字検定、数学検
定、英語検定を実施しており
ます。それぞれ自己の成績
アップを目指して挑戦してお
ります。又、10月から、英会
話指導の一環としてA・L・T、
ダグラス・ミドルトン先生を
月に2回、小学校、中学校へ
と派遣して英会話でコミュニ
ケーションが図られるように

取り組んでおります。

学校外活動では、小学校6
年生が修学旅行を利用して、
那覇市でジョブシャドウイン
グ事業を実施、中学校2年生
が那覇市で職場体験を実施し
ております。

教育委員会としましては、
子ども達の健全育成に努め
て行くことを基本にしていま
す。学校教育は先生方が中心
に進められます。教育行政と
しては、子ども達の教育環境
の整備を図っていますが、中
学校に引き続き、小学校にも
空調設備を教室に設置いたし
ました。

障害学習、社会教育の活動
の拠点施設では、第1回コ
ミュニティーまつりを開催
し、多くの展示物、舞台発表、
記念講演がありました。

子ども達の教育には、「学
校・家庭・地域・行政」の連
携が不可欠であります。

「島の子ども達は皆で育て

る」「早寝・早起き・朝ご飯」、
連携を密にして取り組んで行
きたいと思っております。

平成二十八年のさる年が、
村民の皆様にとって「お祝い
事の多い」一年になりますよ
う祈念申し上げます。

今後とも、子ども達の健全
育成のため、ご指導、ご協力
をお願い致しまして新年のご
あいさつといたします。

平成二十八年一月 新春





新年のごあいさつ

宮古製糖(株)多良間工場
工場長

来間 春誠

Syunsei Kurima



新年明けましておめでとう
ございます。

村民の皆様には希望に満ち
た輝かしい平成二十八年の新
春を迎えられ心身ともに益々
ご健勝のこととお慶び申し上
げます。

また旧年中は生産農家並び
に関係機関の皆様方の弊社
の業務推進に対し心温まるご指
導、ご協力を賜り厚くお礼申
し上げます。

さて、今期製糖創業は平成
二十八年一月五日に原料搬
入、並びに压榨開始すること
で決定となりました。いよいよ
よ一年中を通して最も村内が
活気つく収穫シーズンの到来
です。

今期生産量は昨年比四、三
パーセント減の約二万屯を見
込んでおります。昨年の九月
下旬、台風二十一号が襲来し
ましたが、降雨が七ミリと寡
少で、通過後も殆ど無く、そ
の為潮風害が顕著となり生育

阻害が危ぶまれました。そこ
で村産業経財課と村トラックス
組合と連携して十トポンプ付
きタンク(十台)による上方か
らの除塩灌水を実施。それが
奏効して現在の生育状況は、
青葉枚数五・三まで回復し生
育良好に推移しております。
また品質も直近のブリックス
調査で十八、七度まで上昇し
ており、農家の皆様の所得向
上に繋がるものと思慮致しま
す。

さとうきびは、地域経済を
支える大きな役割を果たす重
要な基幹産業であり、当製糖
工場と致しましても関係機関
及び生産農家の皆様方と共
に、その認識を更に深めて糖
業の振興発展に貢献できるよ
う決意を新たにして努力致す
所存でございます。そして、
昨年島単位で認定されたエコ
黒糖表示による需要拡大を図
るとともに自然の恵みを凝縮
したミネラル、ビタミン豊富

な良品質黒糖の製造に邁進致
します。

結びに、本年も何卒旧倍の
ご指導とご協力を賜りますよ
うお願い申し上げるととも
に、環境に優しいさとうきび
に覆われた緑豊かな多良間村
の発展と、併せて皆様方の健
康とご多幸を祈念申し上げます。
頭のご挨拶と致します。

平成二十八年 元旦



多良間村議会を傍聴しよう

多良間中学校生徒



多良間中学校（本村晃則校長）3年生27名（男子14名、女子13名）が去る12月16日に、12月定例議会を傍聴した。これは地方議会を傍聴し、地方自治に対する関心を持つ。また議会について理解を深め、どのような役割を果たしているか、村財政の現状と課題について理解を深めることが目的。

議会を傍聴して、思考・判断・表現・関心の面から生徒たちの感想を紹介。

*予算についてたくさん話をしていたので、大事なんだなーと思いました。休憩もあったので、びっくりしました。

*多良間村民のために、こんな会議をしているんだなあと考えた。

*一番の大きい席に村長が座ると思ったけど、議長が座っていたからびっくりしました。あと、いっぱいお金の話がありました。

*ちゃんと質問されたら、答えていたのですねーと思うた。村のためにみんな一生懸命やっていたので偉いなーと思った。

*初めて議会をみて、予算について

など話してあったので緊張感があったてすいかなーと思った。

*子どもたちに島に帰ってきてほしいという思いが伝わってきました。

*難しい話をしていて、聴いているだけでは、あまり理解できませんでした。もっと都会にいったら多良間の議会よりでかいと思います。もっとでかい議場を見てみたいです。

*お金の話しが聴けてよかった。多良間のことを少し知ることができた。

*お金についての話しをしていて、それについて、意見をしっかりと述べていて、緊張感があった。

*今日の議会を見て、議員たちは多良間のことについてちゃんと話しているんだなあと思いました。

*来る前はテレビでやっているのと違って方言とかで話しているんじゃないかなーと思っていたけど、行ってみたら普通に話

していたので意外だなーと思いました。質問とかすぐに出てきてすごかったです。

*僕が議会の傍聴して思ったことは、議員の皆さんと課長、議長、村長など多くの人たちが成り立っていることがわかった。今日の議会では予算の補正について審議しており、村民のために頑張ってくれているんだと思いました。今日はくることができて良かったです。

以上 原文のまま！



ふるさと納税寄附金のお礼

羽地 良正様（沖縄県沖縄市在）
村長にお任せコースで三万円のご寄附がありました。

（株）西筋総合設計
西筋 光則様（沖縄県那覇市在）
村長にお任せコースで十万円のご寄附がありました。

有難うございました。

「ふるさと納税寄附金」制度が導入されたのは2008年度。多良間村にゆかりのある方、多良間村を「心のふるさと」と思って頂ける方に「ふるさと納税寄附金」を通じて多良間村を応援して頂くものです。

★寄附金の事業区分は次の通り

- ①教育関係コース ②産業振興関係コース
- ③自然環境関係コース ④村長にお任せコース があり、複数選択可能！

*「ふるさと納税寄附金」についての詳細は、多良間村のホームページ「ふるさと応援寄附金」からクリックしてください。

●平成27/28年期製糖操業開始●



宮古製糖多良間工場（来間春誠工場長）は昨年12月に部落懇談会を開き、平成二十八年一月五日から原料搬入及び圧搾開始することを決めた。

今年生産予想高を19,910と。*新鮮原料の搬入に努めること。*搬入月日を厳守すること。

工場側では注意事項として、*無断での前刈り禁止。*梢頭部の切断位置は2節苗が1本取れる位置。*1台当たり積載量を前茎原料4屯とする。*梢頭部、ひげ根、枯葉、枯死茎、病害虫茎、ねずみ被害茎等は完全に除く。など！

昨年9月に台風21号が襲来した。しかし恵みの雨が乏しく、しかも通過後は潮風害を置き去りした。それでもサトウキビの生育状況は順調に回復し、糖度も申し分ないとした。これから操業中は島中が黒糖の炊き上げる香りが漂う季節となる。

住民福祉課からのお知らせ

高齢者の障害控除認定について

所得税・村県民税の所得控除が受けられる「高齢者における障害者控除対象者認定書」を発行いたします。

次の3つすべてに該当する方が対象者となります。（ご本人または対象者を扶養している親族に限り申請ができます。）

- ①多良間村に在住する65歳以上で要介護認定を受けている方
- ②要介護認定調査等により身体の障害・認知症の状態が一定の基準に該当する方
- ③障害者手帳などをお持ちでない方

*この記事に関する問合せ→住民福祉課介護保険担当 ☎0980-79-2623

村民ご意見箱を設置(村役場)

村民の皆様から村の業務に関する意見などをお寄せ頂き、より良い多良間村づくりに生かすため役場玄関に設置しました。どうぞご遠慮なくご意見をお寄せください。

*村の業務以外の意見や特定の人への中傷、営利目的などの内容は受け付けません。



多良間海運 年末安全会議

去る昨年12月、多良間海運(伊良皆光夫代表)では年末の安全会議が行われ、伊良皆代表は海運事務所において職員らに感謝とし「職員の皆さんには日頃から、「フェリーたらまゆう」の安全航海のため奮闘されていますことに感謝申し上げます。離島にとって欠かすことのできない船舶である。多良間村にとって、「フェリーたらまゆう」は、生活を支えるだけでなく、経済、文化、教育すべてにおいて、航空路とともに重要な運輸手段である。

二つめに、「規定等の遵守」

安全に関する法令及び規定をよく理解・遵守し、厳正、忠実に職務を遂行することでありま

三つめに、「状況の理解」

常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めることでもあります。

四つめに、「確認の励行」

職務の遂行にあたり推測によらず確認の励行に努め、疑義あるときは最も安全と思われる取扱をする。

五つめに、「人命優先」

事故・災害時等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとることです。

六つめに、「情報の透明性」

情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。

七つめに、「改善」

常に問題意識を持ち、輸送の安全に係る業務上の改善を図

ることです。以上、常に安全性、安心性、快適性をレベルアップさせていくことが私たちの使命と考える。

離島である本村においては、船舶は唯一の海上交通機関であるとともに、物流機関であり、宮古島と多良間の海上の架け橋として、生活物資・農畜産物・貨物資材の輸送はむろんのこと、離島航路における村民の足として、また、文化・経済・教育・医療における村民の生活、福祉の向上に大きく寄与している。船内で大切なことは、指揮命令系統が確立し、秩序が守られ、縦横の連携がとられていること、船員の和であります。多良間海運にとりましては、大きな事故は皆無だったと認識しており、引き続き職員一同、連携を保って常に安全運輸を心がけ、業務に励まれますようお願いいたします。

2016年の「さる年」が飛躍の年でありますよう祈念します。」一年のしめくくりのあいさつを述べた。

福祉へ寄附

昨年12月、宮古島市在住の「新垣盛雄」さんが、多良間村社会福祉協議会を訪れ、寄附金を贈呈した。新垣さんは「多良間村の福祉に役立てて下さい」と、金百万円を村社会協の豊見城勝正会長に手渡した。



12月牛セリ結果 (平成27年12月19日実施)

◇全体

区分	去勢	牝	合計
上場頭数	67	49	116
成立頭数	67	49	116
成立(%)	100	100	100
販売価格(円)	50,928,480	29,445,120	80,373,600

◇12ヶ月以内

区分	去勢	牝
あたり頭	最高	879,120円
	最低	642,600円
平均体重	252kg	225kg
平均価格	760,127円	600,921円

多良間村史(民話)よりシリーズ③

正月歌の始まり
しょうがつうた

多良間島の正月の歌は、こうして出来たらしい。夫に先だたれた嫁が、毎日しゅうとから、いじめられながらも辛抱に辛抱を重ね、そして両親を大切に、孝行をつくしていたらしい。その嫁は「私がこの家を出て行ったら、年老いた両親はどうなるんだろう。私はどうなってもかまわないから、かわいそうに後何年生きて下さるやら・・・」とせつせと働いている中に、嫁苦労、女苦労をするお正月を迎えた。

前の晩から、台所で汗だらけ、ススだらけでお正月の支度をしていた嫁が、元日の朝、両親に盃をささげ「お正月がお出になりました。新年をお迎え出来ました」という歌をうたい出した。そうすると、雷おやじに、おにばは涙ぐんで、「私は若返ったように嬉しいのだ。正に羽がはえんばかりだね」との歌をうたった。それから雷お

やじに、おにばは、心を改めて反省し、いじめてきた嫁を可愛がり、大事になさったそうである。また、百年余も昔、「ナガヤマヤ」の春敷翁は、多良間の正月口説を作詞された。その歌は、今日でもお祝いの時などで歌われている。

次に正月口説を紹介します。

- 1、♪正月新年^{みづ}年 おはちゃれや
親の御年や 重なりて
誠長寿の内に入る♪
- 2、♪春のみぐりば 草や木も
緑しぎる 我が親も
春の数々能くみどり♪
- 3、♪岩の如くに 島と長き^な
島にとどまる
おほりたい子や孫に^{なま}拌りて♪
- 4、♪年の寄り積み 親なてど
親の御恩や 今知ゆる やい♪
海と山との深さより
親の御恩やよく深さ♪

広報たらま寄付金のお礼

真栄里 貞夫様（沖縄県石垣市在） ありがとうございます。

編集後記

謹賀新年

明けましておめでとうございます。
旧年に劣らず本年もよろしくお願
いします。

今年も「広報たらま」より多くの情
報を発信したいと思います。

この1年も地域の行事、区の行事村
の行事や多くのスポーツ大会などが
予定されています。お互いが参加し村
の活性化に繋ぎたい。

*昨年8月号で、「村政へのアイディ
ア(提案)募集」を掲載した際、早速応
募(実施する方向で進めています)が
ありました。今後も引き続き「提案」
募集」は受け付けします。

◎「たらま」大好きな皆様から村政に
対して『こうしてほしい』『ああしてほ
しい』『こういうことがあればいいな』
『こういうことができれば便利だな』
役立つな』など、どんなささいなこと
でもOKです。

よろしくお願いします。

てるけん

村長のたうけーむぬゆむ°(ひとりごと)

2016年(平成28年)の輝かしい新年が明けた。本村の世果報と飛躍があり、災いや病は去って行き、申年(さる年)が良い年でありますように願いながら、さる年について調べてみた。さるは木から木へびゅんびゅん飛び回っているイメージがある。あれがまさしくさる年生まれの人の性格だそうで、仕事でも人付き合いても、一カ箇所にとどまるというより、あちらこちらと飛び回る。これがさる年生まれの基本性格だという。

人つきあいは悪くなく、明るくて困っている人を見るとなんとか助けたいと思い、自分から手を差し伸べる。愛嬌もあるので「宴会要員」として飲み会に誘われることも人より多く、宴会の席では持ち前のサービス精神で場を盛り上げるので重宝がられる。弱点としては、あまりに何でもそつなくこなして要領が

いいので、要領のよくない人のことを見下ろしてしまいがち。さらに自信過剰で自己中心に陥りやすいところもあるので、後ろ指をさされる場合もある。

さる年生まれの代表格といえは豊臣秀吉。口達者で頭の回転もよく、周りの人からは楽しい人と喜ばれる。ぴったりの言葉は「チャレンジャー」。思考・発想・行動がほかの生まれ年にくらべて抜群によく、これだ!と思ったたらさつそくとりかかり、わき目もふらず邁進して頑張っていくので、成功者へと上り詰めていく。しかし、かなり感情が激しい面があるので、周りでおっとりした落ち着いた人とお世話をしていないと、人と対立をしてしまい、どんどんあらぬ方向へ突き進んでいってしまうこともある。頭の回転が速すぎるため、物事をあまりよく見ずに決定してしまう時もあるよう

だ。しかし、猪突猛進に思えて、先がない、結果が見えていない、と途中で感じてしまうと、ポイントとあつという間にあきらめてしまう一面もある。ただ、良い方向へ向かえば、ムダな動きをせず先見の明をもって新しい事柄にどんどん着手し、いつしか成功者になっていることも多い。

8月 第31回夏季オリンピック(リオデジャネイロオリンピック)開催
・国民の祝日に関する法律により、新たな祝日「山の日」(8月11日)が実施される

11月 アメリカ大統領選挙

今年一年「少債多笑」「少言多行」のガンジューシャ一番でありたいものだ。



- 1月 「マイナンバー」個人番号カードの交付開始
- 2月 多良間の申年という会
- 4月 電気事業法改正で電力完全自由化
- 5月 主要国首脳会議(G8サミット)が三重県伊勢志摩で開催される
- 6月 公職選挙法により18歳